

ビジョン型 コミュニティ実践会3月

2020年3月17日

一般社団法人 ベストライフアカデミー

代表理事 前田出



Best Life Academy

Best Life Academy

ミッションとビジョン

ミッション

応援する人が、豊かになる社会を作る

ビジョン

目を輝かせて、夢を語る大人が恰好いい！と自慢できる日本にする。

バリュー

1. 安心・応援・ポジティブな場をつくろう
2. 夢を応援する人になろう
3. 未来から逆算してゴールを決めよう
4. 楽しいと感じられることをもっともっと増やそう
5. 最高の人生を生きよう

2週間でよかった事、
うれしかった事をシェアしよう。

オンラインフェスティバルの報告

グラントルール

1. 安心・安全

安心・安全な場を作るにはどうすればいいかをいつも考える。

2. 自由

自由に考え、発言、行動し、応援し合える文化を作る。

3. 価値観

それぞれが違う価値観を持っていることを認め、肯定から入る。

4. ゴール

チーム、個人のゴールを設定して、逆算思考を行う。

5. ワクワク

良いエネルギーを生み出す場を作ろう。

6. 顔を見せて、笑顔でズームに参加しよう。

笑顔とアクション

2月の振り返り

コミュニティを作る時に一番初めにする3つ



ミッション



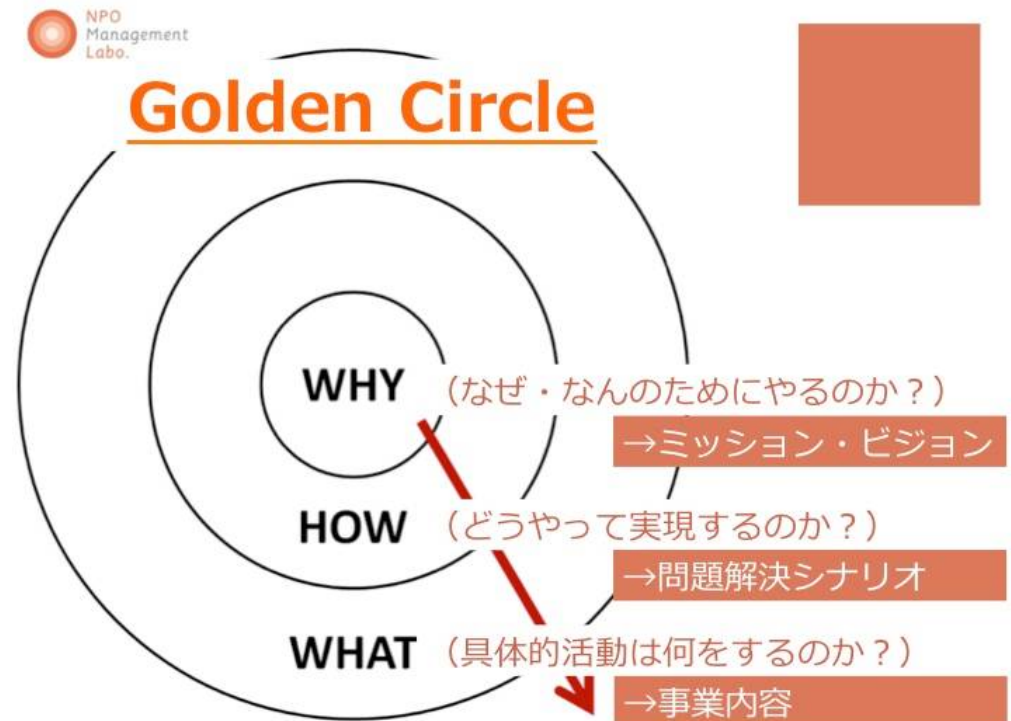
ビジョン



コンテンツ

なぜコミュニティを作りたいのか？

サイモン・シネック
「WHYから始めよ！」





コミュニティの「ミッション」を明文化しよう！

目的

活動の目的は何か？何のためにやっているのか？

対象

活動の対象は誰か？誰のためにやっているか？

価値

活動の魅力は何か？みんなは何に魅力を感じて参加するか？



人は1年でできる事を
過大評価しすぎる。

そして、

10年でできる事を
過小評価しすぎる。

アンソニーロビンズ

10年後、全てが上手く行ったらどんなコミュニティになっていますか？

1. ○○が出来るようになっている

HAVE

2. ○○の状態になっている

BE

3年後、全てが上手く行ったらどんなコミュニティになっていますか？

1. ○○が出来るようになっている

HAVE

2. ○○の状態になっている

BE

1年後、全てが上手く行ったらどんなコミュニティになっていますか？

1. ○○が出来るようになっている

HAVE

2. ○○の状態になっている

BE

コミュニティの「ビジョン」を明文化しよう！

10年後

10年後、全てが上手く行ったらどんなコミュニティになっているか？ HAVE & BE

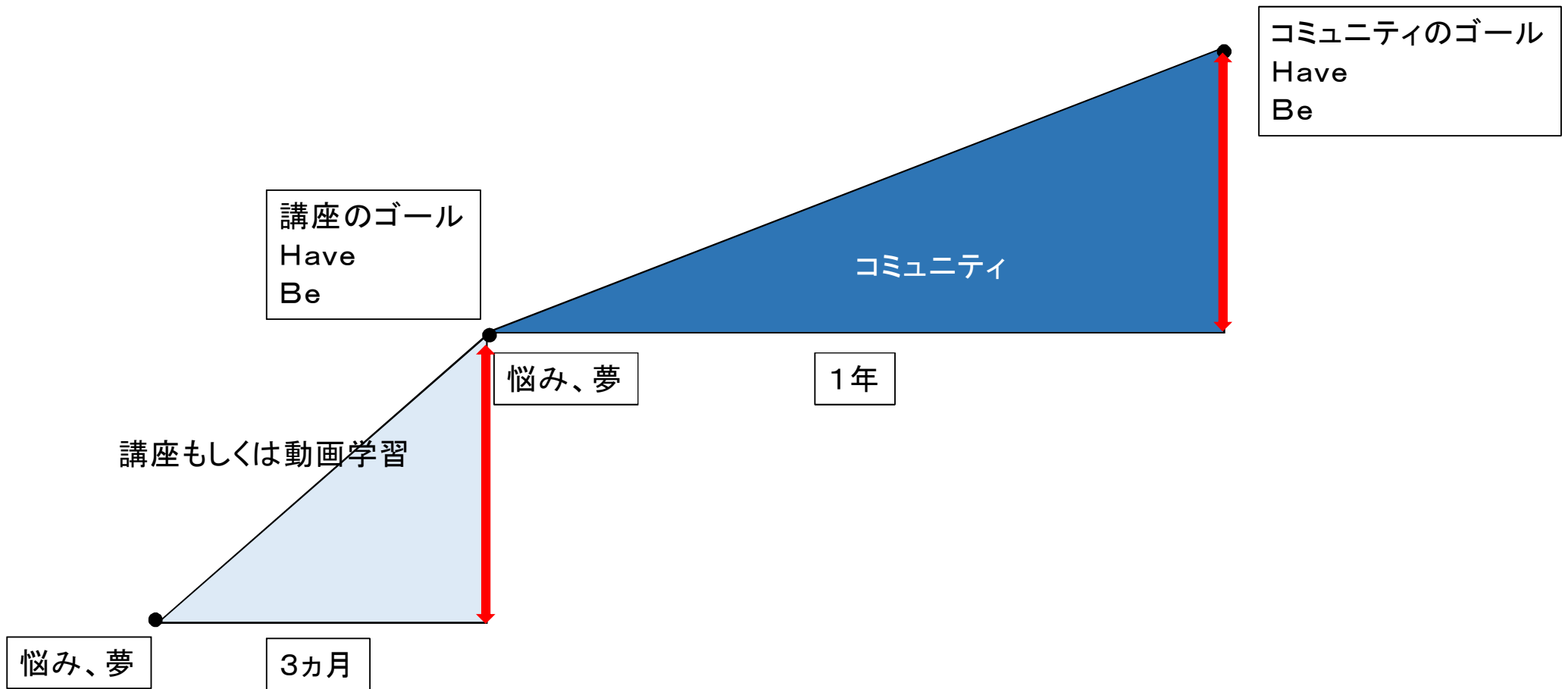
3年後

3年後、全てが上手く行ったらどんなコミュニティになっているか？ HAVE & BE

1年後

1年後、全てが上手く行ったらどんなコミュニティになっているか？ HAVE & BE

【本日の課題】
コンセプトを作ろう！



講座のコンセプト

1. 誰の？(Aさん)

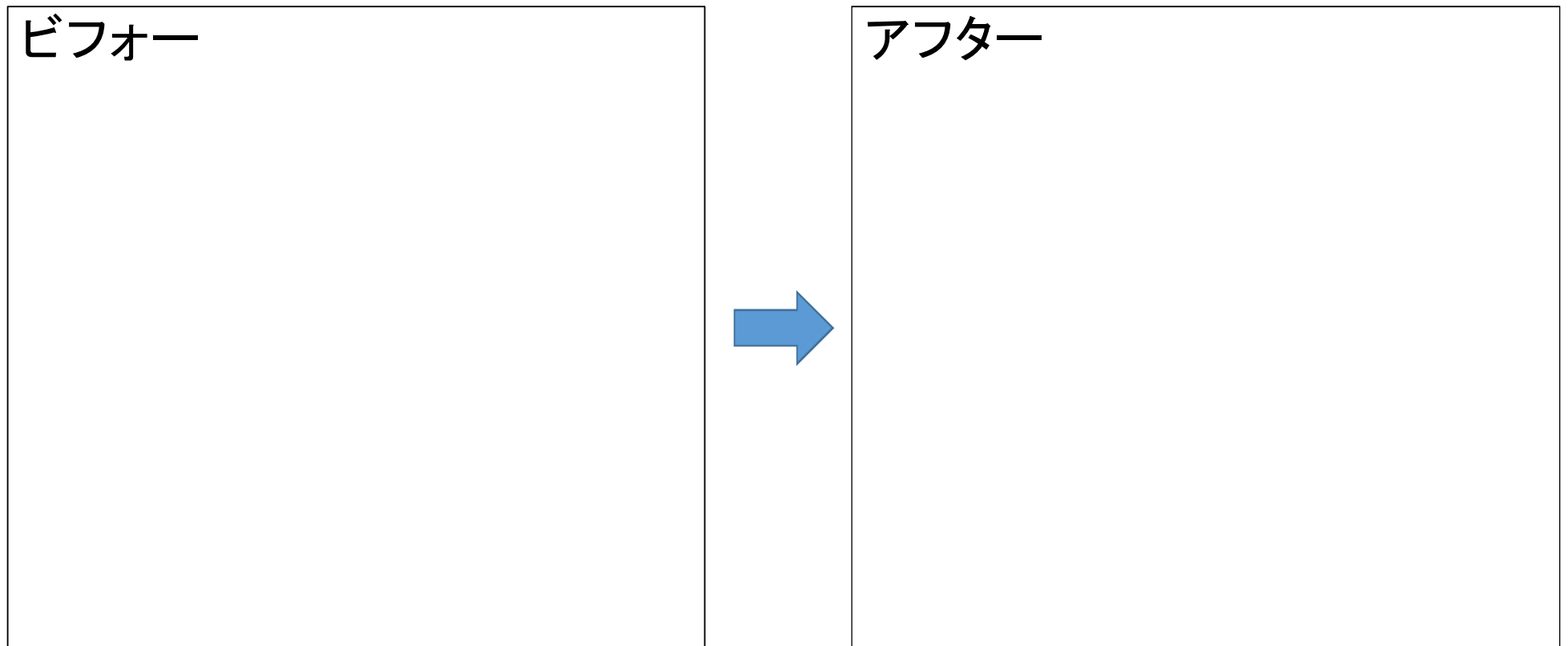
2. どんな悩み、欲、夢を持った人が

3. どうなる？

Have(〇〇が出来るようになる)

Be(〇〇の状態になる)

() 講座でのビフォーアフター



コミュニティのコンセプトを決める

1. 誰の？(Aさん)
2. どんな悩み、欲、夢を持った人が
3. どうなる？

会員()のビフォーアフター

1 参加者の現在の状態

入会前 年 月 日

欲しい、やりたい！

なりたい！

3 コミュニティで何を提供する？



なぜ、変れましたか？
コンテンツは何？



2 参加者の〇〇後の状態

1年後 年 月 日

やりたい⇒やっています！

なりたい⇒なっています！

コミュニティでの提供コンテンツを決めよう！

1. Aさんが変化するために、何を提供しますか？

1) 商品、サービス名

2) 価格

3) 特徴

会員管理のシナリオ設計

1. サービス設計

ゴールまでのシナリオ、道筋を立てる

2. スタート時の状態把握

入会時のアンケートを実施

3. 信頼関係構築 お客様ではなく仲間

4. 状態管理

KPIを設定、計測する

5. シナリオ検証、修正

退会時にヒヤリング

会員管理に必要なもの KPI (Key Performance Indicator)

1. スレッドの既読率
2. メール到達率
3. イベント参加率、発言率
4. 成功事例の発生率
5. 無料・有料会員の継続率

会員のITスキルを確認する

1. Facebook
2. Twitter
3. Gメール スプレッドシート
4. LINE
5. インスタグラム
6. ズーム
7. ユーチューブ
8. FAX
9. 電話
10. リアル

コミュニティ運営プロセスシート

仲良くなるプロセス	何をする？	タイミング	備考
はじめまして			
自己開示と共感			
一緒に何かをする			
仕事に発展する			

チームでフィードバックをしよう

機能面でのフィードバック

スキル面で素敵だなと思える点

感情面でのフィードバック

感情面で素敵だなと思える点

具体的なカリキュラムを作成する。

- 1年間のスケジュールを作り、毎月の勉強会等の予定を立てる。
- スケジュールを見ると、参加者が1年後のゴールをイメージできる。
- リアルで会う場とバーチャルで交流する場をどのように設計するか。

具体的な提供カリキュラム

【メインコンテンツ】

1. 勉強会
2. 専科
3. グループコンサル、個別コンサル
4. 合宿
5. アワード、表彰式、パーティー、運動会
6. 飲み会、ランチ会
7. テーマを決め見学会、遠足
8. 練習会、稽古会

【オンライン上のコンテンツ】

1. 質問掲示板
2. 会員同士の交流 フォーラム
3. デイリーワーク
4. ズームミーティング
5. ズーム飲み会
6. コミュニティ限定記事配信
7. 勉強会の動画配信
8. 外部講演会への優待

具体的なメイン提供カリキュラムを決める

月	内容	月	内容
1月		7月	
2月		8月	
3月		9月	
4月		10月	
5月		11月	
6月		12月	

【振り返り】

1. 興味があったところは何ですか？
2. 帰ってすぐにすることは何ですか？
3. もっと知りたい事は何か？

新チーム

コミュニティ運営

- 集客
- 主催者ブランドの作り方
- 規約
- 課金モデルと集金の仕組み
- 上位講座、コミュニティ
- 他のコミュニティとの差別化
- コアメンバーの育成

これから実践会でシェアしていく事項

1. 入会フローを作る
2. 入会の審査基準を作る
3. コミュニティのコンセプト、目的、ルールを言語化する
4. 入会後のオリエンテーションを設計する
5. 年間スケジュールを手直しする
6. 入会後の1週間、1か月、3か月、6か月後のスモールゴールを設定する
7. 安心、安全な場を作り自己開示できるようにする
8. 定期的なイベントを設計する
9. 課金モデルをつくる
10. 会員に役割を与え、自己有用感を感じ、居心地の良いコミュニティにする